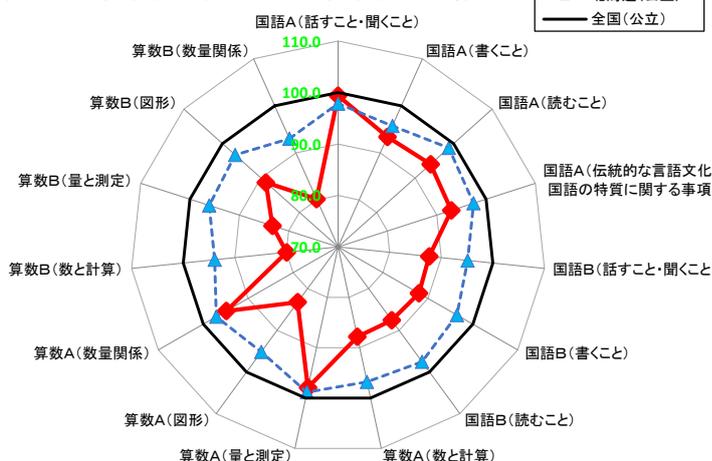


# ■南幌町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1、児童数:61名)

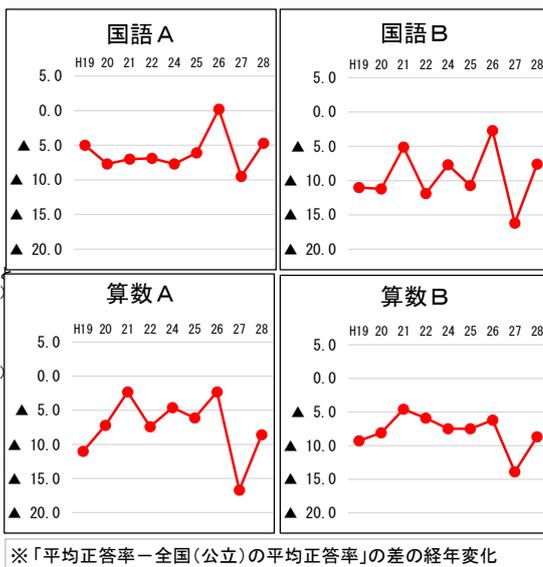
## 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

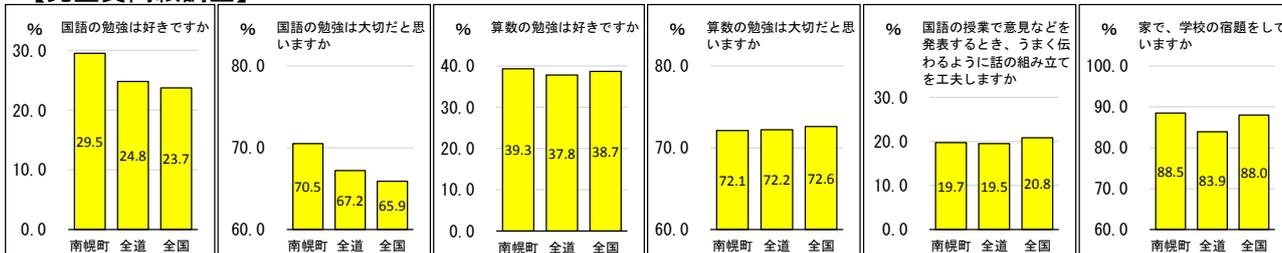
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



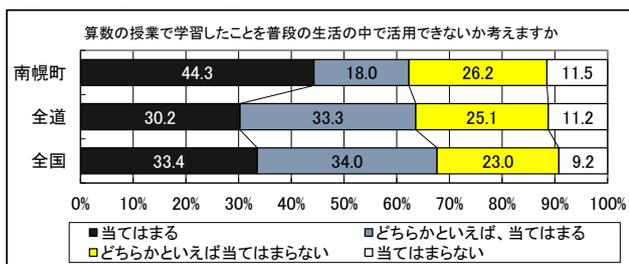
## 【平均正答率の全国との差の推移】



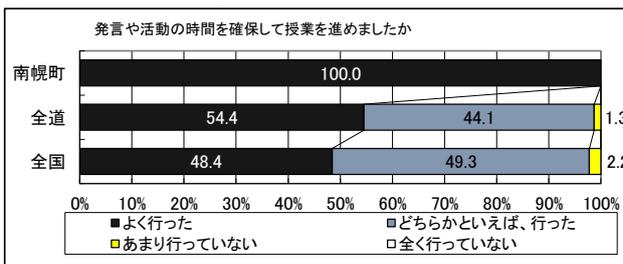
## 【児童質問紙調査】



## 【児童質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語Aでは「話すこと・聞くこと」で他の領域と比べて全国に最も近くなっている。</li> <li>○ 算数Aでは「量と測定」で他の領域と比べて全国に最も近くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発言や活動の時間を確保して授業を進める取組をよく行った結果、児童は国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫したり、算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えたりするようになり、国語Aの「話すこと・聞くこと」、算数Aの「量と測定」で全国に最も近くなったと考えられる。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した児童の割合が全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平均正答率の推移については、発言や活動の時間を確保して授業を進めるとともに、タブレットPCを整備し、学習への意欲を高めたことにより、国語と算数が好き、大切であると思う児童や、家で学校の宿題をする児童の割合が高くなり、全教科で全国との差が縮まってきていると考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発言や活動の時間を確保して授業を進める取組をよく行った。</li> </ul>	

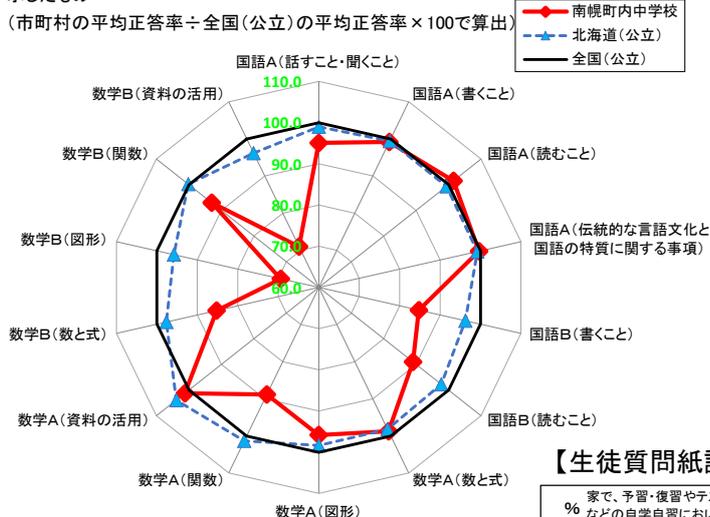
## 【南幌町の学力向上策】

- ◎ 全国調査の結果を活用した学校改善プラン等に基づく組織的な取組の推進
- ◎ 長期休業中における朝活事業と連携した補充的な学習の取組
- ◎ 魅力ある分かりやすい授業づくりに向けてタブレットPCを整備

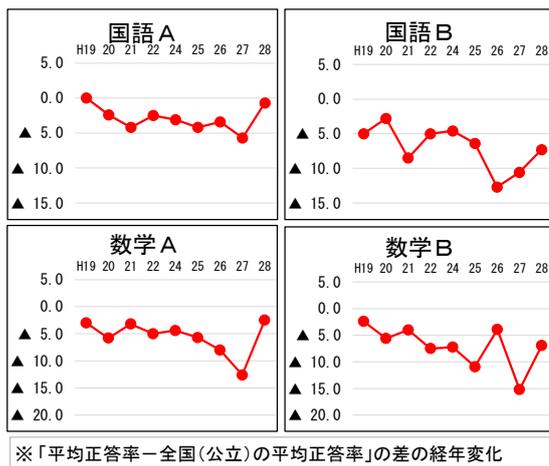
# ■南幌町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:52名)

## 【教科全体の状況】

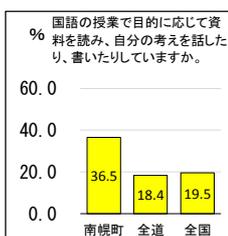
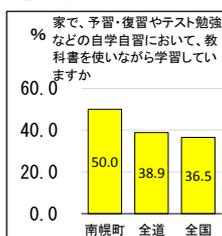
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを



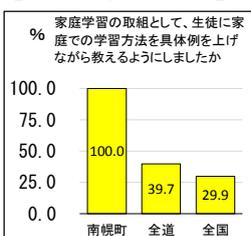
## 【平均正答率の全国との差の推移】



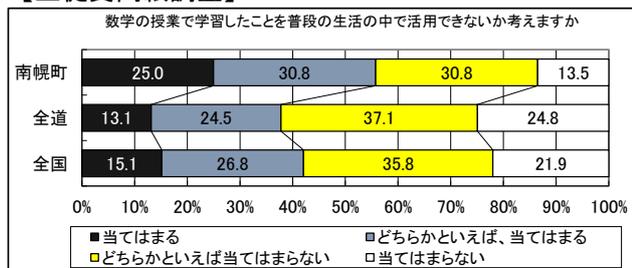
## 【生徒質問紙調査】



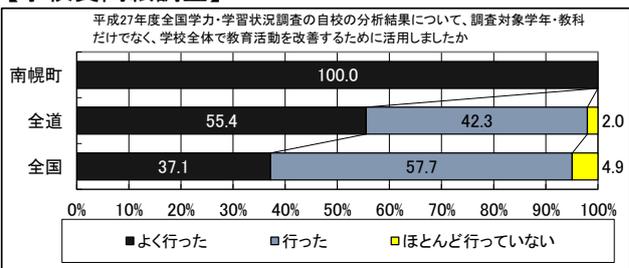
## 【学校質問紙調査】



## 【生徒質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語Aでは「読むこと」で全国を上回っている。</li> <li>○ 数学Aでは「資料の活用」で全道を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成27年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した結果、国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしたり、数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える生徒が増え、国語Aの「読むこと」及び数学Aの「資料の活用」で、全国を上回ったと考えられる。</li> <li>○ 平均正答率については、家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながらよく指導した結果、家で教科書を使いながら学習する生徒の割合が高くなり、全教科で全国との差が縮まってきていると考えられる。</li> </ul>
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した生徒の割合が全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成27年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用する取組をよく行った。</li> </ul>	

## 【南幌町の学力向上策】

- ◎ 全国調査の結果を活用した学校改善プラン等に基づく組織的な取組の推進
- ◎ 長期休業中及び放課後における補充的な学習の取組
- ◎ TT加配における数学の習熟度別指導の実施
- ◎ 魅力ある分かりやすい授業づくりに向けてタブレットPCを整備